

神奈川県内科医学会とは……

本会は1967年2月19日に創設され、神奈川県医師会内の組織である神奈川医学会の最大の分科会で、県内の内科診療を行う医師が、全人的かつ包括的地域医療を目指し、相互連携・連帯を深め、神奈川県の保険・医療・介護のレベル向上を目指して活動する団体です。会員の多くは、同時に全国組織である日本臨床内科医会にも参加し、活動しています。

学術活動

医学会基本集会	定時総会・学術講演会	(5月)
	臨床医学研修講座	(9月～11月)
	新春学術講演会	(1月)
	集談会	(2月)

所属地区・都市内科医会

第1地区	横浜内科学会	第4地区	藤沢市内科医会
第2地区	川崎市内科医会		茅ヶ崎医師会内科医会
第3地区	横須賀・三浦内科医会		平塚市医師会内科部会
	逗葉内科医会		中郡医師会内科医会
	鎌倉市医師会内科医会		小田原内科医会
			足柄上内科医会
			秦野伊勢原医師会内科医会
第5地区	相模原市内科医会		
			大和市医師会内科医会
			座間綾瀬医師会内科医会
			海老名内科医会
			厚木内科医会

入会方法・会員種別

県内科医学会は都市内科医会と一緒にご入会いただいているので、県への入会手続きは、都市から入会届けをご提出いただく形になります。県内科医学会事務局(別記参照)にご連絡下さい。

個人会員、病院会員、大学Ⅰ(横浜市大、北里大、東海大、聖マリアンナ医大)、大学Ⅱ(その他大学)、協賛会員

年会費

個人会員	8,000円
施設会員	病院 30,000円
	大学Ⅰ 80,000円
	大学Ⅱ 50,000円
協賛会員	100,000円

入会申込書

神奈川県内科医学会事務局に所定の入会申込書がありますので、ご希望の方に送付いたします。または下記のホームページよりダウンロードできます。

<http://kanagawamed.org/>

神奈川県内科医学会

検索



学会事務局



〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館3F
神奈川県医師会内 神奈川県内科医学会

TEL 045-241-7000 Fax 045-241-1464

第32回日本臨床内科医学会(H30.9.16-17)

本会が主幹となり、平成30年(2018年)9月16日(日)～17日(祝)にかけてパシフィコ横浜にて開催いたします。テーマは「医識改革」です。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

<http://kanagawamed.org/jpa32/>



神奈川県
内科学会

2017年10月

神奈川県内科医学会 会長あいさつ



平成27年5月16日会長に就任しました宮川政昭です。日常診療に役立つ講演、臨床調査ならびに研究に取り組み、魅力ある地域医療の構築に役立つ神奈川県内科医学会を会員の皆様方とともに作り上げたいと願っております。以下の内容を軸に会の活動を丁寧に取り組んでいく所存です。会員各位のさらなる参加、協力を心からお願い申し上げます。

- (1) 診診・病診・病病・医患・患患とあらゆる形態の医療連携のネットワークの充実
- (2) 様々な臨床研究や調査を通して、実地臨床医という一般性の中に専門性を確立する
- (3) 医療を通して、地域社会への公益を軸とする県民への活動の推進
- (4) 地区内科医会との双方向性の連携・分担活動の創造
- (5) ICTによる会員相互ならびに県民に対する医療情報発信・広報活動機能の活用

組織体制

会長

宮川 政昭（横浜市）

副会長

小野 容明（横浜市） 山本 晴章（特任）
出川 寿一（川崎市） 松田 隆秀（大学）
岩澤 孝昌（横須賀・三浦）
武田 浩（秦野伊勢原）
金森 晃（相模原市）

総務企画部会 企画・庶務・渉外担当

財務部会 会計担当

情報広報部会 ニュース(年2回)、

会報(年1回)、ICT担当

保険制度部会 保険診療・医療制度担当

学術部会 事業委員会担当

学術部会事業委員会

ご興味のある委員会がございましたら、裏面の学会事務局までご連絡ください。

●リウマチ・膠原病対策委員会

日進月歩のリウマチ膠原病領域では、多数の新規抗リウマチ薬や免疫抑制薬の臨床導入に加え、ステロイドの早期離脱も新たな課題です。これらの最新研究成果を会員の皆様と共有し、難病に苦しむすべての患者さんが最先端医療の恩恵を受けられるよう活動します。また多臓器に涉る全身性疾患のため、他領域の専門医との連携が重要です。神奈川県内科医学会の他の事業委員会の先生方も連携して、合同の講演会等を企画・推進します。

○禁煙推進委員会

生活習慣病でタバコによる犠牲者は高血圧症による犠牲者を上回っています。神奈川県内科医学会では長年にわたりタバコ対策に目を向け活動をしています。禁煙治療に係わるテキストの作成（①「今日からできるミニマム禁煙医療」②「禁煙の動機づけ面接」③「禁煙の認知行動療法」（作成中））や2020東京オリンピックに向けて公共の屋内空間の完全禁煙化に向けての社会的な活動を続けています。

○医薬品評価検討委員会

医薬品評価検討委員会は、ジェネリック医薬品を中心に薬に関する情報提供を進める活動を行っています。ご存じのように、ジェネリック医薬品は国が推奨しており、その使用目標を現在の60%から80%へ引き上げることが明示されています。このような状況下にあって、会員の先生方に正しい情報を伝えるため、会員へのアンケート調査（内科）のほか、他の診療科へのアンケート調査も実施しています。

○在宅医療委員会

在宅医療委員会は、在宅医療の担い手を増やす事を目標としています。そのために、在宅医療を推進しようと考えている医師や多職種の皆様と、問題点の検討や情報を共有することが大切であると考えています。

神奈川県内科医学会は学術的に知見を深めていく使命をもっていますが、在宅医療の領域は社会的役割が大きく、神奈川県医師会等とも連携しながら歩んで行きたいと思います。

○健康長寿社会を目指す委員会

超高齢社会進行の真只中で、健康長寿を目指す、生涯現役を目指す、全ゆる活動の紹介、提言活動を通して相互理解を会内外に広めていくため、(1)広く各界の有意の方々との交流、講演等を行う（学術、宗教、社会分野等）、(2)市民等への啓発活動を独自に又会内委員会との連携で開催する、(3)保健、医療・介護（含在宅医療）、福祉、看取り等についての講演、アンケート、提言、といった活動を展開しています。

○メディカルコミュニケーション委員会

良質な医療の実践には、客観的評価に基づく医学（Science）だけでなく、患者さん個々の生活背景や価値観、希望などを十分理解し治療過程に反映させていく技（Art）が必須です。当委員会では各種の講演会やワークショップを通じて、医師と患者さんや家族、あるいは医療者相互のコミュニケーションについて深く考えたり、人間関係を円滑にするスキルを身につけたりする機会を提供します。

●糖尿病対策委員会

糖尿病患者さんの糖尿病合併症を少なくすることを目標にしています。3大合併症に対する対策班を設け、糖尿病神経障害対策班、糖尿病腎症対策班、また、眼科医会との合同協議会を中心とした活動をする一方、自主研究を立ち上げ、DPP4阻害薬、SGLT2阻害薬をどのように有効に使用していくか検討しています。また、毎年11月の世界（神奈川）糖尿病Dayに共催し、市民向けの講演会をはじめ、マリンタワーのブルーライトアップも行っています。

●肝・消化器疾患対策委員会

肝疾患による肝硬変・肝癌をなくすため一般市民や非専門医を対象に啓発活動を行っています。(1)肝炎対策特別講演会を開催、(2)肝臓病を考える病診連携の会を県内5地区持ち回りで年2回開催、(3)肝疾患管理シートや市民公開講座による肝臓病患者の掘りおこし活動、(4)書籍「これだけは知っておきたい肝臓病の知識」を発刊し最新知識を分かりやすく解説、(5)肝臓以外の胃腸を含む消化器疾患全般をカバーする講演会の企画・開催を進めます。

●認知症対策委員会

認知症の早期診断、最新治療、予防、病態、介護、BPSDの対応、成年後見制など、認知症に関するあらゆるテーマにチャレンジしています。主な事業は「認知症を考える神奈川の会」という講演会の企画・開催、認知症クリニック・カンファレンスの実施、臨床研究などを行っています。著名な先生方や地域で活躍されている方々とも交流する機会が多く、臨床医にとって幅広い知識を習得できるよう活動しています。

●高血圧・腎疾患対策委員会

高血圧・腎疾患対策委員会では、県下の高血圧患者の治療状況を把握するため2008年から高血圧臨床実態断面調査を続けています。また、(1)尿試験紙による簡易測定法を用いた通院高血圧症患者の塩分摂取量の実態調査、(2)慢性腎臓病合併症例におけるSGLT2阻害薬投与による影響についての後ろ向き調査研究、の二つの調査研究を中心とした有益な情報が発信出来るよう活動しています。

●呼吸器疾患対策委員会

現代社会では、咳や痰は最もありふれた徴候です。喘息、COPD、気管支拡張症、間質性肺炎、肺癌はコモンディジーズであり、実地医家として適切な対応が求められています。会員諸兄との共感と発見を重視する「ぜんそく症状ゼロ・プロジェクト」、「神奈川県呼吸器疾患フォーラム」、医療スタッフとのチーム医療を実践する「吸入療法支援ステップアップセミナー」などを通じて、自信を持った呼吸器診療が実践できるようになります。

●心臓血管病対策委員会

県内の循環器診療向上を目標としています。専門医においては、臨床試験への参加（心房細動における抗凝固療法の有効性安全性実態調査（ASSAF-K））、研究テーマへの参加・協力（心筋梗塞および救急治療に関する神奈川県循環器救急レジストリー、心房細動・閉塞性動脈硬化症・肺高血圧症のアンケート調査）等新たな知見の創造と共に、年2回の講演会を通じて常に質の高い医療を患者様に提供出来る様に活動しています。